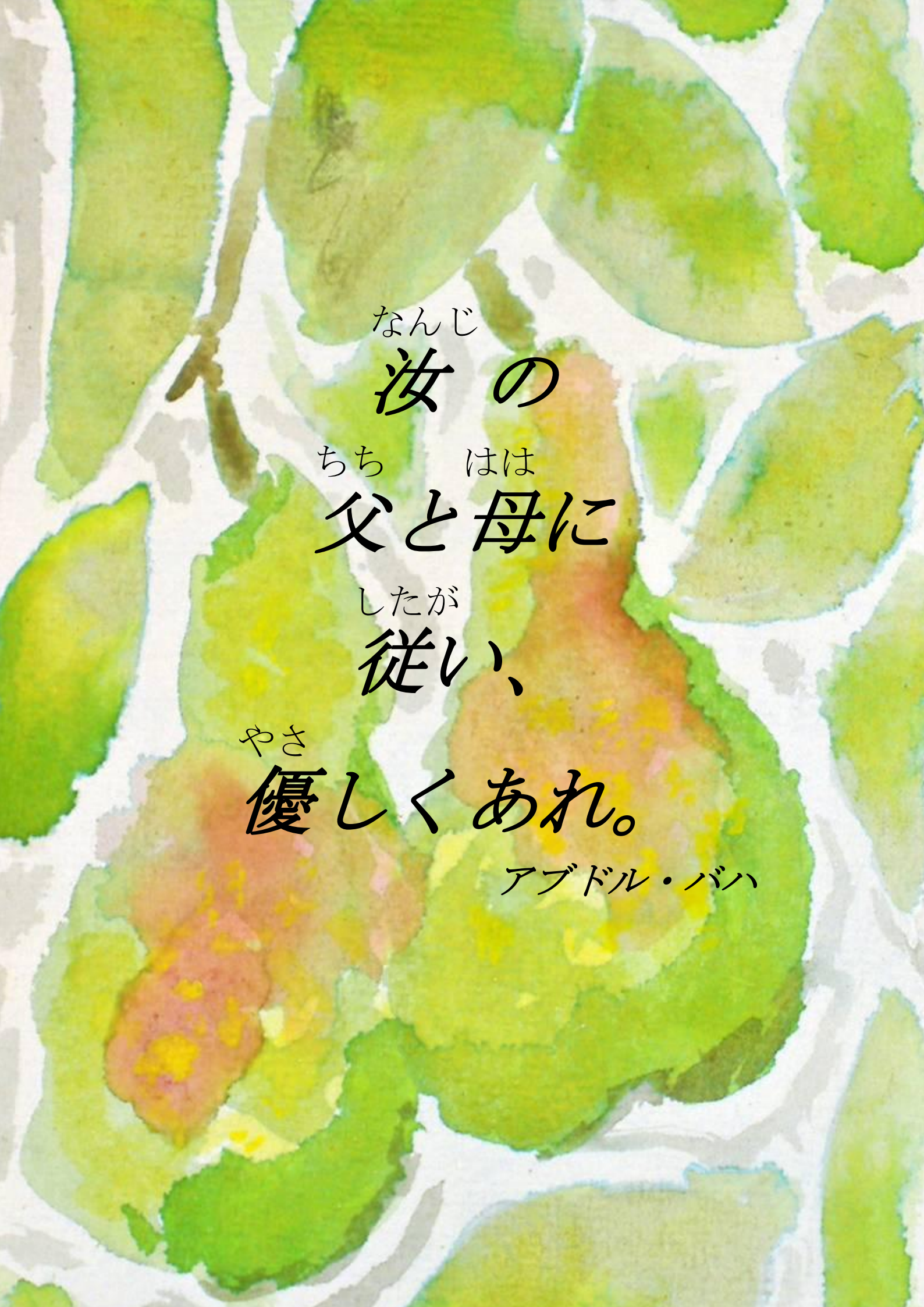




ひるの星

No. 243

もくじ	
ことば	
バハオラという言葉	2
従うこと	3
バハオラの誕生日	9
クイズ	13
大切なペット (私)	14
ぬり絵	16
しゃしん	
みんなの写真	17
保護者のページ	19



なんじ

汝の

ちち はは

父と母に

したが

従い、

やさ

優しくあれ。

アブドル・バハ



従うことの 大切さ

「今日、人類に必要なのは、その道の権威ある人に従うことである。」バハオラ

4人の子供が畳の部屋で、ソーリー・ゲーム（すごろくに似たゲーム）で遊んでいました。

「俺のコマが、お前のコマに乗ったから、お前のコマはふりだしに戻らなくちゃ。」とリアズが大声で言いました。

「ソーリー。」と嘲笑うようにリアズはシャラのコマをふりだしに戻そうとしました。

「だめ！ふりだしになんか戻させないよ。いやだ！」とシャラは叫びながらコマを動かそうとしません。

まもなく二人はケンカになりました。おかげでゲーム板のコマは散らかってしまい、モナとアスマが怒りだしました。子供たちは、手を叩く大きな音を耳にして驚きました。音の方に目をやると、お母さんが一番年下のアニサを連れて部屋に入っていました。

「これは一体どういうことなの？ゲームというより、まるで戦争じゃないの！」

子供たちは何が起こったのか、お母さんに説明しました。お母さんは黙って耳を傾けました。そしてにっこりしながら言いました。

「これは、いい教訓になるわ。従うことが、いかに大切かわかったでしょ？みんな？」

子供たちは何のことが驚いてお母さんを見ました。従うことが、シャラとリアズ
のケンカとどんな関係があるのかを、お母さんが話し始めました。

「どんなゲームでも、そのルールを知ってから始めるでしょ。テレビ・ゲーム
でもスポーツだって同じことよ。もし誰もルールに従わなかったら、ゲームに
ならないし、さっきのソーリー・ゲームのときと同じことが起きるのよ。」

子供たちは、散らかっているソーリー・ゲームを見ました。お母さんが続けま
した。

「従うことは、とても大切な美德なのよ。ルールに従えば、みんなが安全に
守られるのよ。私たちの社会だって、そうなのよ。」

「従うことが美德なら、それはおれが一番苦手とするところだ。」とリアズが言
うとモナがぱっと、それにこたえて、

「そんなこと、みんな知っているわよ。リアズ！」そこでみんな、どっと笑って
しまいました。お母さんが続けて、

「よちよち歩きの子供が危ないものに触ろうとしたり、何か汚いものを口にし
ようとしたたりした場合を考えてごらん。お母さんはその子の手をつかんで

『だめ！』と言うでしょ。そして、ごほうびと罰で少しずつ従うことを教えてい
くのよ。従えば従うほど子供は自分が守られること
を習っていくのよ。そうしていくうちに車にひか
れないように、水におぼれないように子供は自分で
きをつけていくのよ。人生は危険がいっぱい。だか



ら、先生、警察官、お医者さんなどにも従うようになるのよ。」モナが、ちょっと首をかしげてリアズに言いました。

「リアズ、これまで生きてこられたのは、不思議ね。」みんなどっと笑ってしまいました。お母さんが、ため息をつきながら言いました。

「神様のお情けよ。」

「さて、シャラ、交差点に差しかかって、赤信号はいやだ、誰も自分を止めることはできないと言っていたら、どうなると思う？」みんなシャラの方を見ました。シャラは小声で、

「そうしたら、車はみんな衝突してしまうかも。」リアズがぎょろりとシャラを見ながら、

「あたりまえじゃん。」と言うと、シャラはアッカンペーをしました。お母さんが続けて、

「交通ルールを守らないと、誰も外に出られないわ。事故に会わずに行きたいところへ行ける？子供の時から、従うという美德を身につけるようにすべきで、大人になってからでは遅すぎるわ。」するとシャラが、言いました

「だから、大人になってもどろぼうする人がいるのよ。そうでしょ。子供の時に習っていれば、誰もどろぼうしないはずよ。」子供たちもみんな、そう思いました。

お母さんが続けて、

「誰もが自分の政府の法に従えば、平和で豊かな国になるのと同じよ。それに、

世界の国々が国際法に従えば、もっと安全で美しい世界になるにちがいないわ。」 アスマが、

「戦争が起きるのは、その反対だね。」と言いました。

「だって、戦争を起こす人たちは国際法に従ってないんでしょ？」

「そうなのよ。」と、お母さんが続けて、

「こういう問題が起きるのは、きちんとした国際法が未だ定められていないか、それに従わない国や人々がいるということなの。」

モナが続けて、

「国際法に従わなければ、世界の海や空気は汚れてしまうわ。」ちょうどモナは

学校で環境問題を勉強しているところでした。

「そうだね。」子供たちはみんなあいづちを打ちました。お母さんはちょっと考えてから言いました。

「政府や国際法よりもっと上に従うことがあるのよ。それが何かわかるかし

ら？」子供たちは考えながら互いに見つめ合いました。そしてアスマが言いました。

「わかった！それは神様の教えに従うことだろう？」

「そうよ。」とお母さんが言いました。

「政府は社会の法律を定めているけれど、人の心とか気持ちの法律は定めては

いないのよ。たとえば知らない人にも親切にするとか愛するとかね。もしみ



んなが心の^{ほうりつ}法律つまり^{かみさま}神様の^{おし}教えに従えば、^{だれ}誰も

^{きも}気持ちを^{きず}傷つけることもなく、みんな^{なかよ}仲良くなれるのにな。個人や会社や国で

も^{しゃかい}社会の^{ほう}法に従ってはいるけれど、^{ほか}他の^{ひと}人の^{きも}気持ちを^{きず}傷つけていることも^{おお}多い

と思うのよ。もしみんなが^{かみさま}神様の^{おし}教えに従えば、その^{たいせつ}大切さを^わきっと分かって

らえると思うわ。そうすれば^{ちきゅうじょう}地球上に^う飢えや^{せんそう}戦争もなくなって^{すばらしい}素晴らしい^{せかい}世界になると思うのよ。」

お母さんは^{ひといき}一息ついて^{ほほえ}微笑みながら^{こども}子供たちに^{たず}尋ねました。

「どうやったら^{せかいじゅう}世界中の人が^{かみさま}神様の^{おし}教えに^{きづ}気付くかしら？」^{いちばんとしした}一番年下のアニサ
が^て手を^あ挙げながら^{さけ}叫びました。

「私、^{わたくし}知っているわ。^し知っているのよ。」みんな^{わら}笑ってしまいました。お母さん
が、「はい、それではアニサ、その^{こた}答えは何？」と言うと、アニサは^{ほこ}誇らしげ
に、

「それは、ええと、^{かみさま}神様の^{つか}お使いで、^{かみ}神の^{けんじしゃ}ケ。ケン。顕示者。」みんな^{いっせい}一斉に
^{はくしゅ}拍手しました。

「そうだよ、アニサ、^{かみ}神の^{けんじしゃ}顕示者、たとえば。。」子供たちそれぞれが、口々に
^{おおごえ}大声で言いました。

「モーゼ」^{ほとけさま}「仏様」「クリシュナ」「キリスト」「モハメット」「バブ」「バハオラ」。
お母さんが^{つづ}続けて、

「そうね。^{しんせつ おも}親切、思いやりなど、みんなが^{かみさま おし}神様の^{したが よ なか}教えに従えば世の中がどんな
にか^よ良くなるでしょうに。」モナが^{おとな}大人ぶって

「^{かみさま}神様は、^{かなら わたし}必ず私たちを^み見ていらっしゃるのよ。たとえ^{だれ}誰も^み見ていなくてもね。」
と言うと、リアズが、「それは^{おそ}恐ろしい！」と言ったので。みんな^{わら}笑ってしま
いました。お母さんが^{ほほえ}微笑みながら言いました。

「それでは、さっきのゲームを^{はじ}始めましょうか。みんなルールを^{まも}守れるわね？」

「もちろん！」とゲームの^{じゅんび}準備をしながら、みんなは^{おおごえ}大声で^{こた}答えました。それ
からお母さんとアニサは、みんながゲームをするのを見物^{けんぶつ}しました。

「おお、^{せかい}世界の人々よ！我が^{ひとびと}命が我が^{わ めい われ}召使に我が^{めしつかい}愛の^{わ あい}ランプとなり、^{われ}我の
^{そうぞうぶつ}創造物の^{じひ}慈悲の^{かぎ}鍵となることを^{かっこ}確固として^し知れ。」バハオラ

バハオラの誕生日



すべての始まりのとき、神様はある約束をされました。神様がいつも人類を見守ってくださり、お導きくださるという約束でした。そして神様は次から次へと、その約束を果たす御使いを世に送り出されました。モーゼ、クリシュナ、キリスト、仏様、モハメットなどです。これらの御使いは、さらに二人の偉大な御使いがある日現れて、もっと素晴らしい世界がやって来ると約束しました。

1,800年代の初め、その約束の二人が現れました。たくさんの人々がこの日がやって来るのを夢見ていました。でも困ったことに、人々の多くはそれがどのようにしてやって来るか気付きませんでした。約束の日がやって来たら、他の御使いを約束されたように、神様は必ず新しい御使いを送ってくださることを理解すべきでした。約束された二人は私たちと同じように赤ちゃんで生まれてきました。でも二人とも神の光で輝いていて、それは、それは特別でした。だから二人の御使いを愛し、敬うことは神様を愛し、敬うことと同じでした。ある人々は何も知らされていなくても神様の御使いが生まれてくるのを知っています。ペルシャ（今のイラン）の何人かの聖人はこのことを知っていました。約束された二人の名は、バブとバハオラです。バブについては別の機会にお話すると、今回はバハオラについてお話しします。

1,800年代の初め、ペルシャの王様は立派な宮殿に住んでいました。王様を取り巻く人々はお金持ちで、立派な屋敷に住んでいました。そのうちの一人に、それは、それは大金持ちで立派な御方がいました。その御方は貧しい人に大変気前が良いので、その御方の領地内の人々はとても幸福でした。



1817年11月12日の朝早く、この御方に男の赤ちゃんが生まれました。ちょうど同じころ、ペルシャの他の場所で、ハジ・ハッサンと言う人がお祈りをしていました。何度も大地に頭をつけてお祈りをしていると太陽が昇り始めました。

「神はもっとも偉大なり、神はもっとも偉大なり！」そのとき彼は振り返って、後ろにいる若い男に言いました。「世界を燦然と照らす約束された御方が現れた。」

それはバハオラで、まさにそのとき、お生まれになったのでした。

ちょうど同じころ、シェイキ・アーマドという聖人がバハオラの誕生を人々に知らせる役目を持って、神様から送られてきました。ハジ・ハッサンがバハオラの誕生を知ることは、シェイキ・アーマドの教えにありました。

シェイキ・アーマドは、世界の誰もが神の隠されたこの宝を、ある日見つけ出すように祈っていました。どんな宝も比べものにならないバハオラに人々が従えば、善、愛、幸福、平和で世界は満たされ、豊かになります。

バハオラの両親は赤ん坊のバハオラをこよなく可愛がりました。両親はこの

赤ん坊が神の約束された

御方だとは全く

気付きませんでした。しかし

二人ともこの赤ん坊がふつ

うの赤ちゃんでないことは

気付いていました。ある日バ

ハオラのお父さんは不思議



な夢を見ました。バハオラが大洋で泳いでいるのです。その身体は、まるで光のように輝いて水に映っているのです。頭の長い髪はゆったりと水に泳いでいるのです。無数の魚が光り輝くバハオラの身体に集まってきて、髪の毛の一本一本にしがみついでいくではありませんか。たくさんの魚がしがみついているにもかかわらず、バハオラは自由自在にすいすいと泳いでおられるのです。

バハオラのお父さんは不思議に思っ、早速、賢者にこの夢が何を意味するのか、尋ねました。賢者が答えて、大洋は世界を襲し、バハオラはこの世界を治める主様であると説明しました。最初はたくさんの人々がバハオラに反対するかもしれないが、後には全ての人々がバハオラを愛し、従っていこうと説明しました。

バハオラが成長する間、誰も知らないことまでバハオラが御存知であることに、人々は驚かされました。学校に行かなくても、その先生以上に何でもよく御存知でした。バハオラは並はずれて賢かったのです。あるとき、ペルシャ

の王様がバハオラのお父さんに、とても払いきれないほどのお金を支払うよう要求しました。そのとき、バハオラは7才でした。バハオラは王様に会って、そのお金の額がまちがいであることを説明しました。王様はその説明に納得されました。

バハオラは豊かな生活や社会的地位が高い人に囲まれているより、自然の中で神様にお祈りをしたり貧しい人々を助けたりすることを選びました。

バハオラが大人になっても、誰もが知らされるその日まで、ほんのわずかな人しか、バハオラが神の栄光と呼ばれる御方であることを知りませんでした。

*このお話はフィリピンの N.S.A. 刊行「子供のためのバハイ教育」から抜粋による。

「あなたを知る者は神を知る者、あなたの御前に至る者は神の御前に至る者でありますことを証言いたします。それ故に、あなたを信じ、あなたの御しるしを信じ、御主権の前にひれ伏し。。あなたの王座の前に立つ者の幸せはまことに大なるものであります。」

バハオラ参堂の書



www.stephenpaschal.com

クイズ

1. 最初のお話で、子供たちはどんな美德を学んだでしょうか？

2. 子供のお母さんはどうやって「従う」ことをその子供に教えるでしょうか？

3. もし誰も交通ルールに従わなかったら、どうなるでしょうか？

4. 政治では精神的なルールを定めているでしょうか？

5. 神様が送られた先生の名前を、いくつかあげなさい。

6. バハオラが、お生まれになったのはどこですか？

7. バハオラが、お生まれになったのはいつですか？

8. バハオラのお父さんはバハオラについて、どんな夢を見たのでしょうか？

9. 賢者が説明した夢の意味は、何だったでしょうか？

うまく答えられましたか？
答えは両親のページにあります。



大切なペットの^{たいせつ}人形^{にんぎょう}

ぜんごう かみさま わたし たましい たいせつ からだ はなし
前号で神様が私たちの魂に大切なペット（身体）をくださったお話をしまし
た。あなたの大切なペット（身体）の人形を作ってみましょう。

ざいりょう 材料

クレヨンか、マジックマーカー

かざ 飾り（レース、けいと ぬの き 糸、布切れなど）

えんぴつ
鉛筆

だん はこ かみ 紙か、かたい紙

はさみ

わ ばし 割り箸か、ストロー

テープ



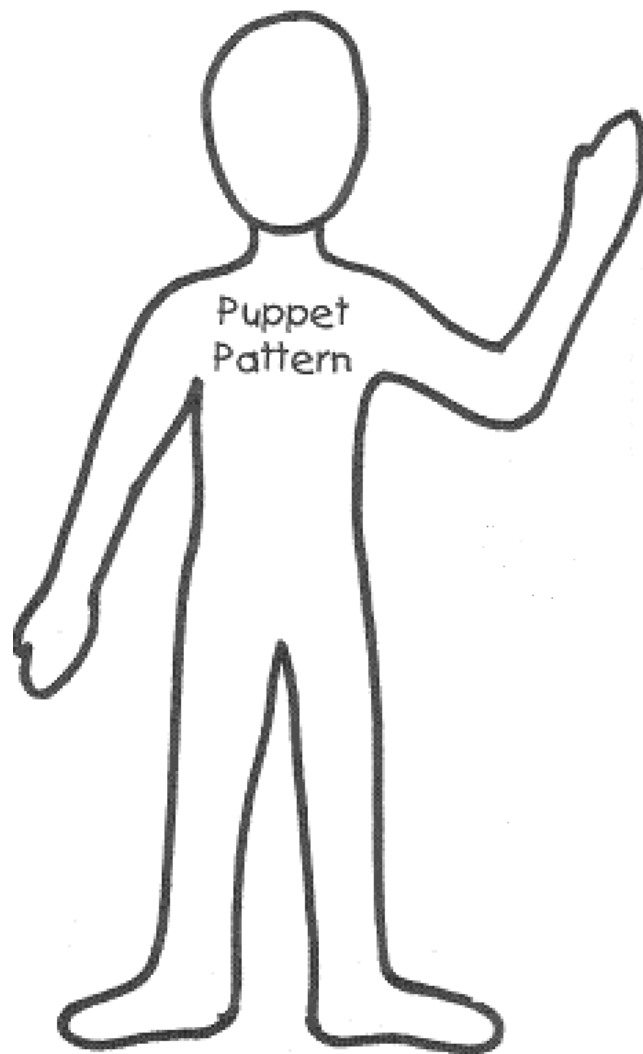
作り方

1 人形 の絵をかたい紙に貼りつけ、切り抜く。

2 目、鼻、髪^{かみ}の毛^けなどを、飾り^{かざ}つける。

3 できあがった人形^{にんぎょう}に割り箸^{わ ばし}をくっつける。

さあ、あなたの大切なペットと遊んであげましょう。

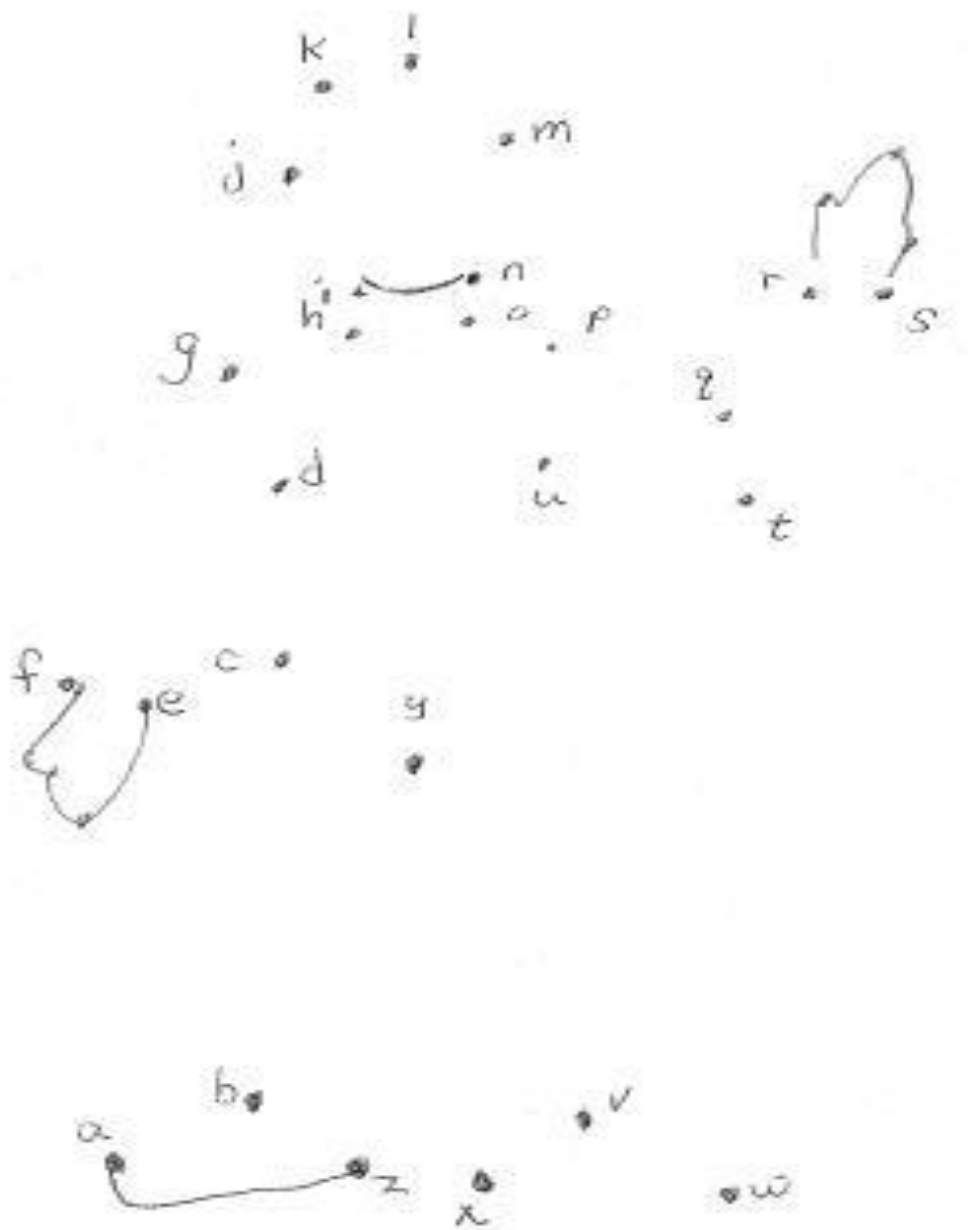


ぬり絵

a から b へ....

b から c へ....

点をつなげて絵を完成してみましょう？



できあがった絵に大切なペットをいとおしむように、色ぬりしましょう。

ひがしにほん
東日本バハイサマースクール





にしにほん
西日本バハイサマースクール



保護者のページ

昔と違って最近では、両親によっては「従う」ということを強く子供に教えたがりません。それは、権威があるからといっても正しくない場合があると心配しているからでしょう。だからこそ私たちは、疑うことのない最高の権威、神の存在を知り、神に従うということが大切なのです。どの宗教でも、その教えは同じ一つの神から来るものであると信じるなら、親切、慈悲、同情、正義などに反するような行動に出ないでしょう。神の法は、国内、国際、どの地でも、どんな法にも正しい基準となるはずです。

子供の最初の先生となるのは、その母親です。その手伝いをするのは、父親です。だから、子供がその保護者を尊敬して従うように教えるのは、保護者に重大な責任があります。もし子供がこれを習わなければ、後の子供の人生で先生や仕事などの社会の権威や神の法にも従わないでしょう。私たちの大切な子供の人生だけでなく社会も台無しになるでしょう。保護者はこの責任を必ずや問われるとバハオラが言われています。

「おお人の子よ！汝無限の空間を走り抜け、広大なる天空を横切る

うとも、汝はわが命令に服従し、わが顔の前にへり下る以外に安息

は見出せないであろう。」

バハオラ

「われが単なる法典を汝らに啓示したと思うな。いやむしろ、われは強大と

威力の指にて、選り抜きの美酒の栓を開けたのである。これについては啓

示のペンが書き記したことが証言する。これについて瞑想せよ、おお洞察

力ある者らよ。」

バハオラ

クイズの答え；1) 従うこと、2) 子供の手をつかんで「だめ。」と言って、ごほうびと罰で少しずつ教えていく。3) 車が衝突する。4) いいえ 5) モーゼ、クリシュナ、仏様、キリスト、マホメット、バブ、バハオラ 6) ペルシャ（今のイラン）7) 1817年11月12日。8) バハオラが大洋で泳いでおられて頭の長い髪本にボンに魚がしがみついていく夢。9) 大洋は世界でバハオラはそこを治める王様、魚達はバハオラに従う人々。



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ
いいお話、又は写真などがあれば、送ってください。
vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp に送ってください。

ひるの星

№. 243

2010年9月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://www.bahaijpn.com/daystar.htm>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：平原静志、平原ルアナ、マクティア・理恵、原なお

協力

物語：平原ルアナ、フィリピンのN.S.A. 刊行

和訳：平原静志

写真：小島えり子、安岡なお子、平原ルアナ、

絵：ステイヴン・パスカル、ラリー・カーティス、バーバラ・キャスターライン、平
原ルアナ、サナ・マジズーブ

テクニカル・アドバイザー：尊田望

監修：平野祐一